

## ■ 報告事項

---

(1) 令和2年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

### 1 令和2年度 事業計画

#### 【基本方針】

観光庁は、令和2年（2020年）訪日外国人旅行者数4,000万人の目標達成に向けて、アジアからの取り込みを徹底するとともに、欧米豪からの誘客に取り組み、令和12年（2030年）には、同旅行者数6,000万人を目指しています。達成に向けたさまざまな施策のなかでも、特に、国内地域のプロモーション支援を抜本的に強化し、各地域への誘客促進を強化しております。

このような国の動きのもと、大津においては、平成29年（2017年）3月に策定された大津市第2期観光交流基本計画が実践に遷り、「オンリーワンのびわ湖を活かした観光による地域の活性化」を大前提とし、びわ湖をはじめとした大津市が持つ豊富な地域資源を観光資源へと進化させ、地域の活性化につなげていく取り組みが進められました。

当協会においても、大津市の第2期計画に合わせ、初となる中期ビジョン（2017年度～2019年度）を策定し、「びわ湖大津・巡るまち」のテーマのもと、単年度のサブテーマを、「大津京遷都1350年」（2017）、「大津に恋して、びわ湖に恋して。」（2018・2019）と設定し、具体的な取り組みを実行し成果を上げて参りました。

来たる令和2年度は、大津市の第3期観光交流基本計画の策定のタイミングとなり、大津の観光振興、地域活性化が次のステップに進みます。当協会においても、大津市の第3期計画より先行し、第2次中期ビジョンの骨子を策定したところであります。

次のステップへの初年度となる令和2年度においては、継続して、「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」（滋賀県観光テーマ）の一環である、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機とする大津の取り組みにおける成果の最大化に努めることを第一としつつ、次期ビジョンの達成に向けた「巡るまち（循環型社会）、クールなまち（循環型経済）・大津へ」の取り組みにも着手します。従来の観光産業によるモノ・コト創りや観光誘客に基づく消費促進・経済活性化に加え、特に、健康・教育を意識したヒト・コト創りという新しい取り組みにもチャレンジし、持続可能で豊かなまちづくりの推進を図ります。

#### 【重点項目】

<継続的な取り組み>

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を契機とする大津の取り組みの成果の最大化

<次期ビジョンの達成に向けた取り組み>

従来の観光産業によるモノ・コト創りや観光誘客に基づく消費促進・経済活性化に加え、特に、健康・教育を意識したヒト・コト創りという新しい取り組みにもチャレンジ

## 【公益目的事業】

### 1. 観光宣伝事業

#### (1) 観光宣伝物作成事業

観光パンフレットや季刊情報誌など、びわ湖大津の情報を発信するためのプロモーションツールの作成を通じて、文化財や文化的景観はもちろん、地域の食文化などを活用した観光誘客を図る。また、子どもたちや地域住民の誇りにも繋げる。

#### (2) 観光情報ネットワーク事業（ホームページとSNSの運営・活用）

観光ホームページ「びわ湖大津トラベルガイド」を活用した情報発信をはじめ、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなどSNSでの情報発信を強化し、フォロワー獲得の目標数値を明確にした誘客促進を図る。

#### (3) 大河ドラマ「麒麟がくる」放送を契機とした誘客事業の取り組み

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会が主催する“びわ湖大津・光秀大博覧会”を広く周知するため広報宣伝に努める。

#### (4) アニメコンテンツ等新規メディア活用による魅力発信事業

大津ならではのアニメやキャラクター等、大津ゆかりの新たな魅力を発信するため、ターゲットに効果的なメディア活用による広報宣伝活動を行う。

#### (5) 観光キャラバン・プロモーション等の誘客事業

他都市との差別化を図る湖畔リゾートとしてのアピールを行うため、各専門部会や観光関連団体との連携を意識して、首都圏・中部圏・関西圏等における観光プロモーションの展開や誘客キャラバンの推進を図るとともに、マスメディアを活用した広報宣伝の手法を調査・研究する。

#### (6) びわ湖大津観光大使事業

「びわ湖大津」の観光宣伝の一翼を担うびわ湖大津観光大使を選任し、市内での観光イベントや市内外での観光キャンペーン、SNS等を通じて、大津の魅力を広く発信する。特に、大河ドラマと連動したSNSでの情報発信で存在感をアピールできる取り組みをめざす。

### 2. 誘客・イベント実施事業

#### (1) 大河ドラマ「麒麟がくる」放送を契機とした誘客事業の取り組み

NHK大河ドラマ「麒麟がくる」大津市観光振興協議会への参画を通し、受入体制の整備を図ると共に、これを基盤とした新たな大津の観光振興推進の契機として、日本の歴史をつくった大津ゆかりの人物の周知と観光活性化の取り組みにも繋げる。

#### (2) 第66回びわ湖開き事業

湖国滋賀に春の到来と湖上観光の幕開けを告げ、びわ湖に訪れる観光客の安全を祈念すると共に、水の恵みに感謝し、びわ湖の環境保全を呼びかける。

開催日 2021年3月6日（土）

場 所 びわ湖大津館、大津港、外輪船ミシガン等

#### (3) ライトアップ事業

大津の豊かな自然や歴史ある建造物をライトアップすることにより、大津の夜を一層魅

力的なものとし、大津市のイメージアップと夜間観光の推進による宿泊滞在型観光の推進を図る。

- ① 春の琵琶湖疏水、夏の近江神宮、秋の比叡山坂本におけるライトアップイベント
- ② 市内事業者・地域と連携して新たなライトアップイベントの展開

(4) コンテンツツーリズム促進事業

市内で撮影された映画やアニメなど、ロケ地や作品の舞台となった文化財や文化的景観を活用した誘客促進並びに子どもたちや地域住民の誇りになる活動の促進に繋げる。また、滋賀ロケーションオフィスへの撮影支援を通して、ロケ対応のノウハウを蓄積し、将来に備える。

(5) 「かるたの聖地・大津」ブランディング事業

かるたの聖地・大津の認知度向上のための取り組みとして、競技かるた・百人一首を活用した市内外での取り組みを通してブランディングを行う。また、大津ならではのサブカルチャーで誘引できるイベント開催などでの市内回遊性の促進を図る。

### 3. 観光客受入対策事業

(1) 観光案内所運営受託事業（大津市委託事業）

石山駅観光案内所、堅田駅前観光案内所の運営

(2) びわこ花噴水運転事業

(3) 観光ボランティアガイド活用事業

来訪者の満足度向上のため、市内ボランティアガイド団体と連携して受入体制の充実を図る。

① 研修会の開催による資質の向上

② ガイド人員拡充等、体制の充実

(4) サテライト観光案内所運営事業（大津市受託）

来訪者の満足度向上のため、市内で行われるスポーツイベントや祭り等で臨時的観光案内所を開設する。また、市外のターミナル施設などにおいて、季節の観光情報の発信を行い、大津市への誘客促進を図る。

(5) びわ湖疏水船事業の活用による観光振興事業

「琵琶湖疏水沿線魅力創造協議会」において京都市観光協会と共に中核を担う役割として疏水船の利用促進と安全運航の推進を図ると共に、大津港への延伸など将来的な基盤整備の検討を行う。また、京都・大津間の誘客ルートとして確立させ、インバウンド商品としての開発や大津市民への周知にも努める。

(6) 「アーバンリゾート」としての知名度向上のための観光案内所整備試行事業の推進

市内周遊促進のため、電車・バス・湖上交通のターミナルである、京阪びわ湖浜大津駅または中心市街地などでの観光案内所整備試行事業を再検討し、人と人とが交流するターミナル拠点にふさわしい機能、バゲージフリーシステムなど、来訪者へのサービス業務を検討する。また、ワーケーションでの誘致など、歴史ある中心市街地からの開放感あふれるびわ湖畔エリアの魅力を「アーバンリゾート」として知名度向上を推進する。

(7) 大津市との定期的な情報交換による観光振興の推進検討

大津市との定期的な情報交換を通して、次期大津市観光交流計画の策定に協力していく。

#### 4. インバウンド対策事業

##### (1) 誘客プロモーション事業

- ① 2020オリンピック・パラリンピック、2021ワールドマスターズゲームズ関西等の訪日需要への対応と、これを契機とした誘客プロモーションの展開
- ② 大津市インバウンド・国際交流室との連携
- ③ 会員事業者のインバウンドセールス支援（VJTM商談会参加等）
- ④ 台南市旅行同業公會との友好協定を活用した誘客促進事業

##### (2) 受入環境の整備・充実事業

- ① 大津市が参画する京都市認定通訳ガイドの活用と会員事業者との連携促進
- ② 京都市内からのインバウンド向けモデルプランの造成
- ③ “琵琶湖”を活かしたインバウンドコンテンツ造成の調査・検討

#### 5. 広域観光振興事業

##### (1) 滋賀県・(公社)びわこビジターズビューローとの連携事業

滋賀県およびびわこビジターズビューローが行う事業と連携して効果的な観光情報の発信と誘客イベント等を実施する。

- ① 県主催観光誘客事業における地域情報の提供および誘客イベントの実施（令和2年度観光キャンペーン「戦国ワンダーランド 滋賀びわ湖」等）
- ② 県観光情報誌等への情報提供
- ③ 国内旅行商品企画担当者商談会での情報提供および商談
- ④ インバウンド部会への参画

##### (2) 湖信会十社寺との連携事業

湖信会十社寺との連携により、文化財・文化的景観による観光誘客や、子どもたちや地域住民の誇りになる活動を活用して市内来訪・周遊の促進を図る。

##### (3) 大津志賀観光振興事業

より広範囲に大津観光の展開を図るため、びわ湖大津志賀観光振興協議会に参画し、誘客事業、誘客促進事業を図る。

- ① イベント実施事業
- ② 誘客促進対策事業
- ③ 情報発信事業
- ④ 歓迎対策事業

##### (4) 大津市諸団体との連携事業

大津商工会議所をはじめとする市内諸団体が実施する事業に参画する。

##### (5) みーつ・びわ湖大津事業への協力

みーつ・びわ湖大津と共に、びわ湖や市内各地域の資源を活用した観光コンテンツの造成を図り、観光振興で地域活性化を推進する。

##### (6) びわ湖大津夏まつり事業

名称変更「びわ湖大津ビワコイ祭り」

(7) 地域観光協会連携事業

地域観光協会と連携することで観光客受け入れの体制作り強化を図る。また地域観光協会が相互に連携し広域的な事業展開ができるよう、びわ湖大津観光協会が中心的役割を担うよう努める。

(8) 市内観光事業への後援・協賛等

関係諸団体の主催する観光事業等に対し、後援・表彰等を行い、観光振興の機運醸成に努める。

## 6. 物産振興事業

(1) 物産プロモーション事業

大津商工会議所が推進する「大津百町百福物語」ブランディング化への取り組みに参画し、web、SNS等での情報発信並びに「ここ滋賀」をはじめ、市内外での物販を通じて大津の物産をPRする。

(2) 誘客促進のためのご当地商品開発事業

戦国やかかるた、そして健康や教育をテーマにした大津に関わるコンテンツを活用した商品の開発を推進して誘客促進並びに来訪客の満足度向上を図る。

(3) 市内開催イベント及び県外への出店事業

大津市内で開催される各種大会やイベントでの出店を通して、来訪客の満足度向上を図る。また、滋賀県やびわこビジターズビューロー、そして大津市や大津商工会議所などの関係団体と連携するなかで県外プロモーションとして、商業施設等での物産イベントを開催するとともに、県内商業施設との連携にも取り組む。

### 【収益事業】

(1) 物販事業（観光名刺台紙、観光キャラクター関連商品等）

(2) チケット販売事業

(3) 市内開催イベント等での物販斡旋事業

(4) 地域限定旅行業による旅行業事業（ぐっと大津まちなかこだわりツアー、宿泊斡旋等）

(5) 大津港旅客ターミナル喫茶売店事業

### 【会議】

1. 通常総会

2. 理事会

3. 専門部会（総括部会、総務部会、観光宣伝・誘客部会、広域事業部会、インバウンド部会、物産振興部会）

4. 地域観光協会連絡会議（地域観光協会懇話会）